

吉川区

地域協議会だより

(第 35 号) 平成 30 年 12 月発行
発行 吉川区地域協議会
編集 たより編集委員会
事務局 吉川区総合事務所
総務・地域振興グループ
TEL 025-548-2311



専門部会の活動状況

■ 安全で安心な吉川区の実現のために

安全・安心部会長 平山 英範

冬の訪れを目前に、皆さまも忙しい日々を送られていると存じます。私たち安全・安心部会も、「出張」地域協議会で頂戴した課題を一つ一つ解決すべく、頑張っているところです。

部会の担当分野で、自主的審議事項としている消防団の課題では、2月に上越市消防団吉川方面隊幹部の方々と意見交換会を行いました。更に広く意見を伺いたいたため、再度、方面隊の方々と意見交換をさせていただく予定です。一方、既に総合事務所で対応され、解決した課題も多くあります。「出張」地域協議会では河川関係の心配の声が一番多く出されましたが、全ての箇所ではないものの工事が始まり、解決に向けて順次、動き出していると聞いております。これも地域の皆様が様々な場所で、地域の課題を発信し続けた結果だと思えます。「継続は力なり」と申しますが、地域の課題を発信し続ければ、いつかは行政にも声が届き、解決につながると思えます。私たち部会も、残りの課題を早く解決できるよう努力いたします。

■ 集い支え合う環境整備を検討

暮らし・支え合い部会長 上野 康博

第4期地域協議会の新たな取組みである「出張」地域協議会は、3月15日の勝穂地区での開催をもって終了しました(既報・地域協議会だより第34号)。皆様方のご発言のうち、当部会の担当案件は最終的に42件となりました。内容も、「公民館等の集会施設」、「交通・買物弱者」、「地域づくり拠点」、「老人会組織」、「集落機能維持」等、集落・区の課題を述べられており、当部会でも部会方針に従い、会議の都度、検討作業を行ってきました。

部会検討の一助として、昨年11月14日に吉川高等特別支援学校の視察研修を行い、本年は11月19日にはNPO法人ぐりんバスケット(糸魚川市)への視察研修を行っています。

また、区内全地区での「出張」地域協議会を本年3月に終了したことから、この度、10月15日にこれまでの検討内容を見直し、再考しました。部会での検討結果は第8回地域協議会(11月19日開催)で報告しております。これからは部会検討結果の実現に向けて、継続協議を行います。

■ 区内人口の減少が最大の課題

次世代担い手部会長 関澤 義男

区内7会場で行った「出張」地域協議会では、多くの皆様からご意見をお聞きしました。「区内の若者が減少し、地域や町内会の行事等が続けられず、地域文化の衰退が危惧されること」、「今後は運転できない高齢者が増加すること」、「農家の高齢化による地域農業の衰退や農地の保全」、「空き家の増加」など、今後の吉川区に対する不安の声が多く挙がりました。

次世代担い手部会ではこれを受けて、当部会の担当分野における区内の重要かつ最優先で検討すべき課題を、「少子高齢化や人口流出による区内人口の減少」と「区内のイベント等の存続による賑わいづくり」に絞り込みました。このうち人口減少に関しては、若者の区外への流出を防いで定住を促すため、吉川区内に在住する独身者の結婚を促進する活動等も重要であると話し合っています。まだ、部会協議の段階であり、今後、地域協議会での議論が必要ですが、協議会だけでは解決が困難ですので、団体等の皆様と課題を共有し、協力しながら取り組んでまいります。

《平成 30 年度 頸北地区地域協議会委員合同研修会が開催されました》

9 月 28 日（金）に大潟区において、頸北地区地域協議会委員合同研修会が開かれました。頸北 4 区の地域協議会が合同で行っている研修で、吉川区から 10 人の委員が出席しました。



第 1 部は、3 班に分かれて分科会を行いました。各班のテーマは、『地域活動支援事業の検証と地域活性化』（1 班）、『地域課題の把握と自主的審議の活性化』（2 班）、『市民や市民団体に開かれた議論の場づくり』（3 班）でした。各班では各区の実情を報告し合い、地域協議会としての議論の方向性などを意見交換しました。

また、第 2 部では、滋賀大学経済学部教授の宗野隆俊先生をお招きして、『上越市の地域自治に接して考えてきたこと』と題した講演会が行われました。宗野先生は平成 25 年度の『上越市地域協議会検証会議』で副座長もお務めいただくなど、以前から上越市の地域協議会制度と関わりが深い方で、講演ではアメリカのオレゴン州ポートランド市における「近隣アソシエーション」を例に、市と地域の間にある地域自治組織の在り方や市の関わり方などが提言されました。

地域協議会では普段、それぞれの区に関わる課題を中心に議論しています。しかし一方、広域的に頸北地区や全市に渡る課題も数多くあります。今回の分科会でも、各分野で多くの地域課題や全市の課題が話題になりましたが、残念なことに十分に話し合う時間はとれませんでした。今後はこの研修会が、より広域的な課題を協議する場になることを期待しています。



《平成 30 年度吉川区地域協議会委員視察研修を実施》

- 実施日：平成 30 年 11 月 19 日（月）
- 視察先：NPO 法人ぐりーんバスケット（糸魚川市）
- 視察内容：「運転できない方の交通手段」に関する支援について、現在、事業を行っている NPO 法人を訪問し、取組の内容や自立的な経営の手法などを研修しました。

※ 研修の具体的な内容は、「吉川区地域協議会だより」第 36 号に掲載する予定です。

■ 委員就任のごあいさつ

吉川区地域協議会委員 中村 正三



本年 9 月に、地域協議会委員を拝命いたしました中村です。生まれも育ちも吉川区山中です。住民の目線で様々な課題を検討・議論する場である地域協議会の一員として活動することに、身が引き締まる思いです。

人口減少、若者の流出、高齢化の急激な進展…。この吉川区には、今やどこの自治体でも抱えるこうした悩みの全てが当てはまります。しかし、頭を抱えているだけでは物事は前に進みません。何でもよいから行動を起こすことだと考えます。

地域協議会先輩委員の方々のご指導をいただきながら、吉川区が抱える多くの課題と困難に、僅かでもお力添えができればと思っています。よろしく願いいたします。

【編集後記】

1 面でご紹介いたしました、「出張」地域協議会で地域の皆様からいただいた多くのご意見、ご要望に対し、3 部会に分かれていろいろと対策案を検討、協議しています。全ての内容にお応えすることは困難ですが、吉川区地域協議会としてできる範囲で、少しでも多くの課題を改善に導けるように頑張っています。

月日の経つのは早いもので、もう 12 月となりました。平成最後の 12 月です。私たちの任期も残り 1 年余りとなってしまいましたが、吉川区がより元気に、より住み良い地域となるように最後まで力を注ぎたいと思います。今後とも、皆様方のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

第 35 号たより編集委員 五十嵐 豊、上野 康博、薄波 和夫（五十音順）